

災害マネジメント演習		演習	准教授 古川 慎太郎 講師 清家 洋 講師 田口 弘茂 助教 水上 治彦	
科目カテゴリー	救急救命士コースの専門分野科目	科目ナンバリング	13391104	

1. 授業のねらい・概要

災害に備え、また発災時に迅速・的確に対応するためには、P（計画）・D（訓練）・C（評価）・A（改善）サイクルを意識した取り組みの推進が重要である。本授業では、災害による被害の軽減を主眼としたPDCAサイクルの意義を体感的に理解し、またその実践方策を修得することをねらいとする。本授業を受講した学生が将来、わが国における防災・減災に関する取り組み推進の中心的存在として活躍することを目指す。

2. 授業の進め方

過去の災害の実例等を踏まえ、グループワークやシミュレーション訓練を中心としたアクティブラーニングによる授業展開を行う。授業への取り組み姿勢に応じたグループ分けを行い、安全かつ効率的に授業を展開する。なお、安全管理や部隊活動に係る留意事項について繰り返し指摘される学生については、危険を伴う訓練には参加させない（見学のみとする）。

3. 授業計画

1. オリエンテーション（授業の目的・進め方）	16. 災害対応オペレーションの実践①（参集・立ち上げ）
2. 災害マネジメント概論	17. 災害対応オペレーションの実践②（情報収集）
3. 災害現場におけるマネジメント①（基本的考え方）	18. 災害対応オペレーションの実践③（情報分析）
4. 災害現場におけるマネジメント②（指揮階層）	19. 災害対応オペレーションの実践④（情報共有）
5. 災害現場におけるマネジメント③（指揮統制）	20. 災害対応オペレーションの実践⑤（記録）
6. 災害現場におけるマネジメント④（連絡調整）	21. 災害対応オペレーションの実践⑥（資料化）
7. 災害現場におけるマネジメント⑤（安全管理）	22. 災害対応オペレーションの実践⑦（リソース配置）
8. 災害現場におけるマネジメント⑥（情報伝達）	23. グループ討議①（災害対応オペレーションの課題）
9. 災害現場におけるマネジメント⑦（状況評価）	24. グループ討議②（①により抽出した課題への対策）
10. 災害現場におけるマネジメント⑧（総合）	25. 避難所運営①（基本機能と運営上の留意事項）
11. 災害対応オペレーションの基本①（構成要素）	26. 避難所運営②（図上演習）
12. 災害対応オペレーションの基本②（情報収集・分析）	27. 総合演習①（ブロンズエリア）
13. 災害対応オペレーションの基本③（情報共有・記録）	28. 総合演習②（シルバーエリア）
14. 災害対応オペレーションの基本④（資料化）	29. 総合演習③（ゴールドエリア）
15. 災害対応オペレーションの基本⑤（リソース配置）	30. 総合演習④（総括）

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

適宜提示する事項に関する事前学習、授業内容の振り返り、資料整理、自主練習等に週90分以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により、個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

- 1) 災害対策におけるPDCAサイクルの意義・重要性について理解を深める。
- 2) 災害発生時における指揮統制・連絡調整、情報伝達、状況評価のあり方について理解を深める。
- 3) 災害現場における安全管理の重要性について理解を深める。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（60%）および第27回～第30回の授業で実施する総合演習における活動状況（40%）により評価する。

なお、平常点は、授業態度・積極性・協調性・判断力・行動力等を踏まえて総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

本科目は、本コースの全学生が履修しなければならない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、公的機関等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。